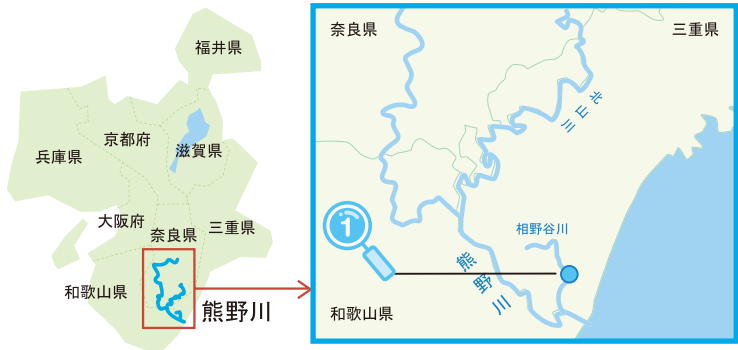


# くまのがわ 熊野川

熊野川は、雨の多い紀伊半島を流れる最も大きな川で、和歌山・奈良・三重の3県にまたがって流れています。豊かな自然に恵まれ、川と海を行き来するハゼなどの魚がたくさんいます。

熊野川では天候不良のため平成23年度調査は中止となりました。このページでは昨年度(平成22年度)データを紹介しています。



## 川のプロフィール

名前: くまのがわ  
レベル: 一級河川  
水系名: 新宮川水系  
長さ: 183 km  
流域の広さ: 2,360 km<sup>2</sup>  
流域内人口: 約5万人

昔、熊野川は、熊野三山にお参りするための大切な「川の参詣道」として、たくさんの人に利用されていました。古代・中世のころは、本宮から新宮まで川舟で川を下り、熊野速玉大社にお参りしていました。川底が浅かったため大きな船では行き来できず、4~5人乗りの川舟を使っており、下りは4時間、上りはその倍の時間がかかったと伝えられています。今は、世界遺産に登録され、海外からこの「川の参詣道」を訪れる人も増えています。



## 相野谷橋下流

平成22年9月25日  
参加人数 11人  
三里小学校



カワゲラ 2点  
ナガレトビケラ 2点  
ヤマトビケラ 2点  
ヒラタカゲロウ 1点  
ヘビトンボ 1点  
ウズムシ 1点

コガタシマトビケラ 1点  
ヒラ外ロムシ 1点  
カワニナ 1点

少しきたくない 3点

ヒル 1点

きたくない 1点

きれい 9点

このばしょはきれいな水



ここでは、ナガレトビケラ、カワゲラ、ヤマトビケラが多かったよ。水がきれいなんだね。



かりゅう  
下流

## 熊野川の水のきれいさの移り変わり

